

# CASBEE<sup>®</sup> さいたま2016年版 | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版 使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

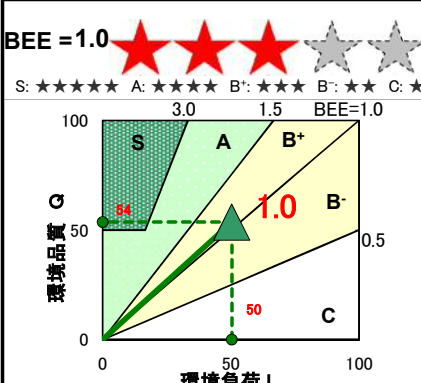
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	コープみらい岩槻センター 新築工事	階数	地上2F
建設地	さいたま市岩槻区美園東1丁目7番1地4庫	構造	S造
用途地域	準住居地域、準防火地域	平均居住人員	100 人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,200 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年8月 予定	評価の実施日	2017年12月12日
敷地面積	3,838 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社日本ハート設計一級建築士事務所
建築面積	2,218 m <sup>2</sup>	確認日	-
延床面積	2,735 m <sup>2</sup>	確認者	-



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

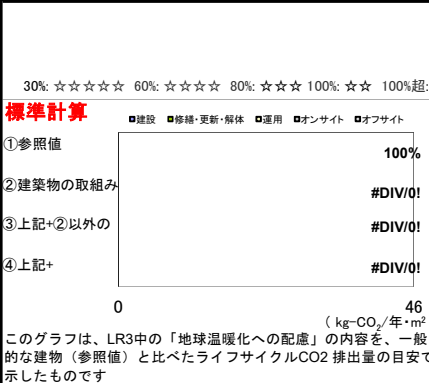
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★



### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

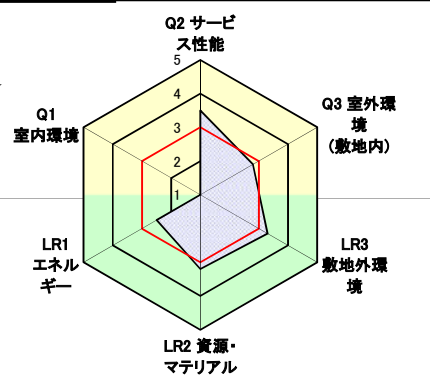
標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

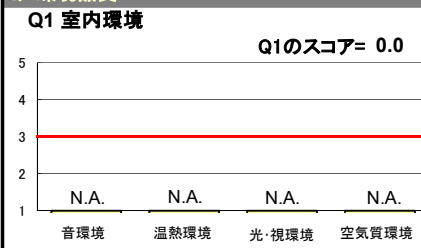


### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.1**

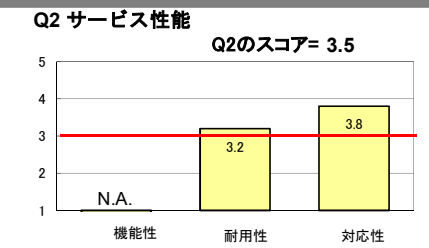
#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0



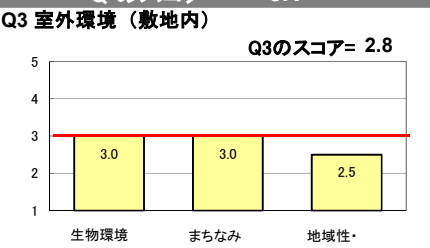
#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.5



#### Q3 室外環境(敷地内)

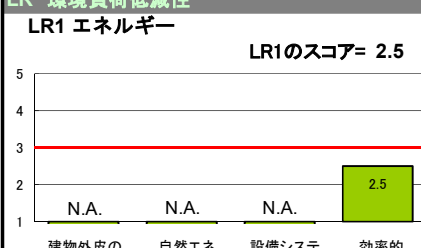
Q3のスコア= 2.8



**LR のスコア = 2.9**

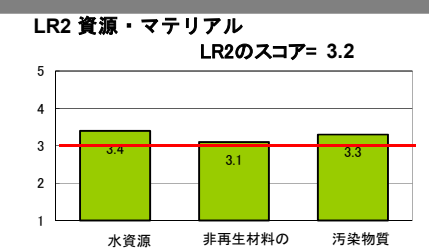
#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.5



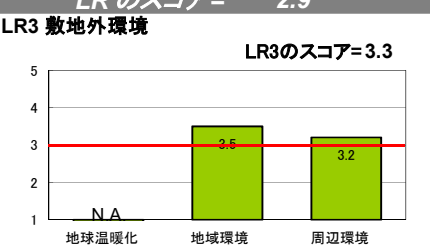
#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2



#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3



3 設計上の配慮事項		
総合	倉庫として利用するため、建物外周部の使い勝手(車路、メンテナンス)に配慮した計画とした。また、外構計画は周囲に緑地帯を設け、屋根上、壁面緑化も設置することにより近隣に向けて圧迫感のない空間を演出した。	
その他	-	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
-	階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。	空地率を大きくし、また、中高木を植栽することにより敷地内温熱環境の向上に努めている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
-	自動水栓や、節水型機器を用いるなど、水資源を保護している。	広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。また、燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される